

平成22年 第3四半期の事故発生状況（速報による）

北陸地方整備局発注の直轄工事

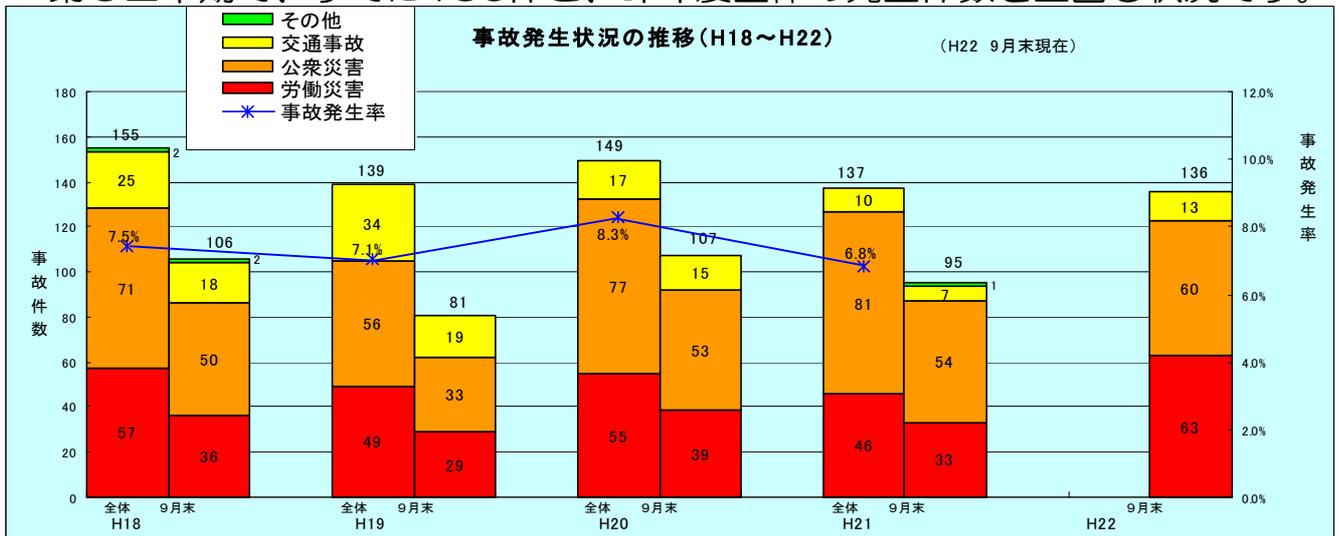
☆☆ 事故件数は、第3四半期で、すでに136件 ☆☆

☆☆ 熱中症が22件（過去5年間で最多） ☆☆

☆☆ 工事の最盛期を迎え、事故防止を徹底しましょう。 ☆☆

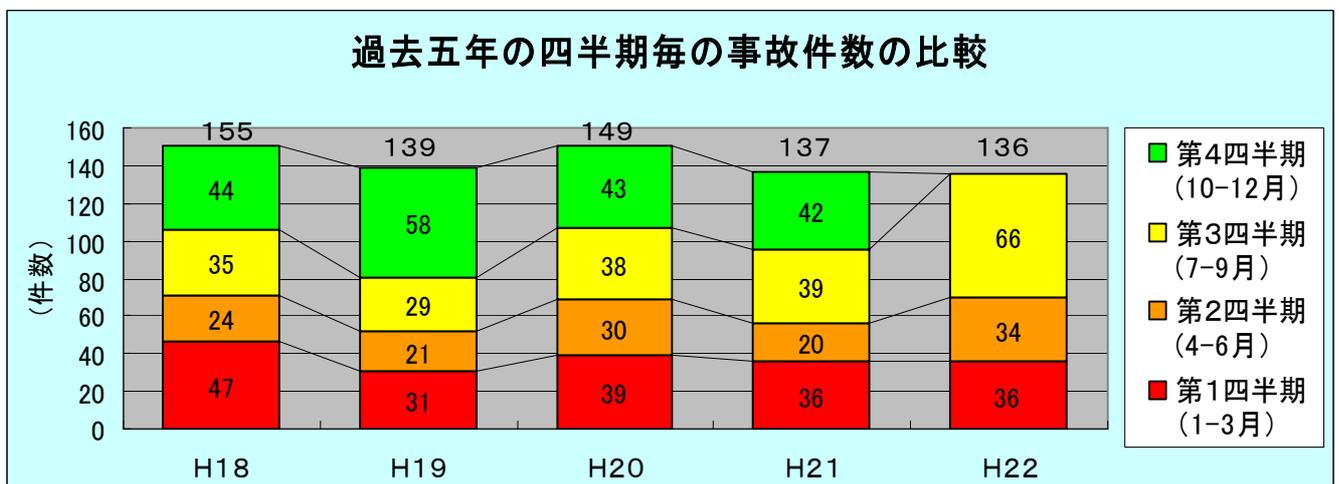
1. 工事事故速報の件数

第3四半期で、すでに136件と、昨年度全体の発生件数を上回る状況です。



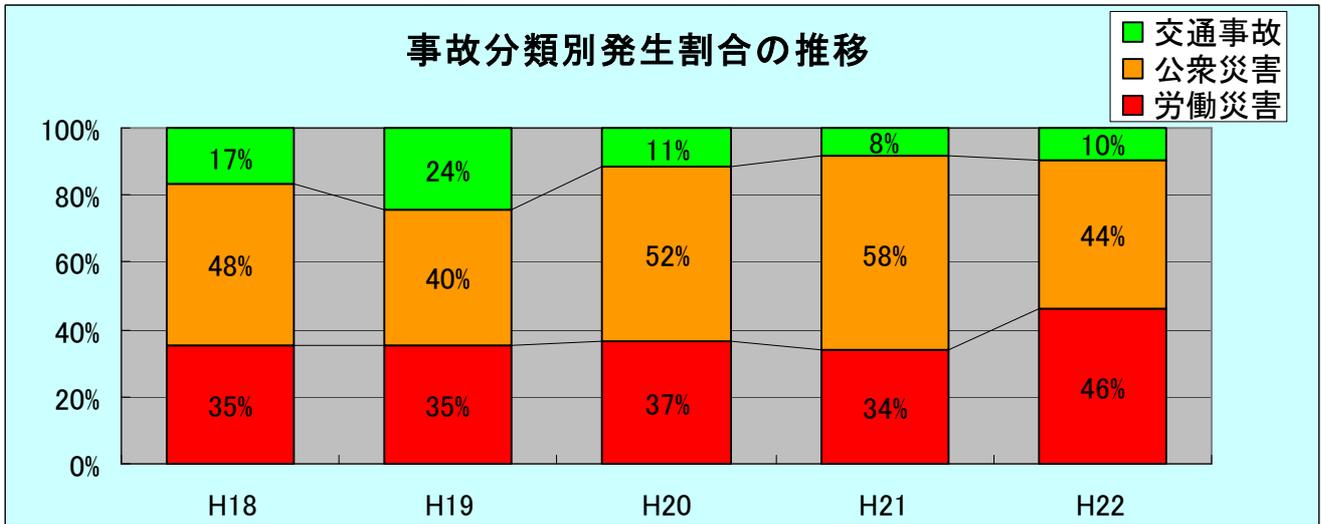
2. 各年度の四半期毎の事故件数の推移

過去の事故発生状況では、第4四半期（10月-12月）の事故発生が多い傾向にあります。工事の最盛期を迎え、事故防止に努めましょう。



3. 事故分類別発生割合の推移（H22年は、9月末データによる）

全体の傾向としては、公衆災害が増加傾向にありますが、本年は、熱中症により労働災害の割合が、高くなっています。



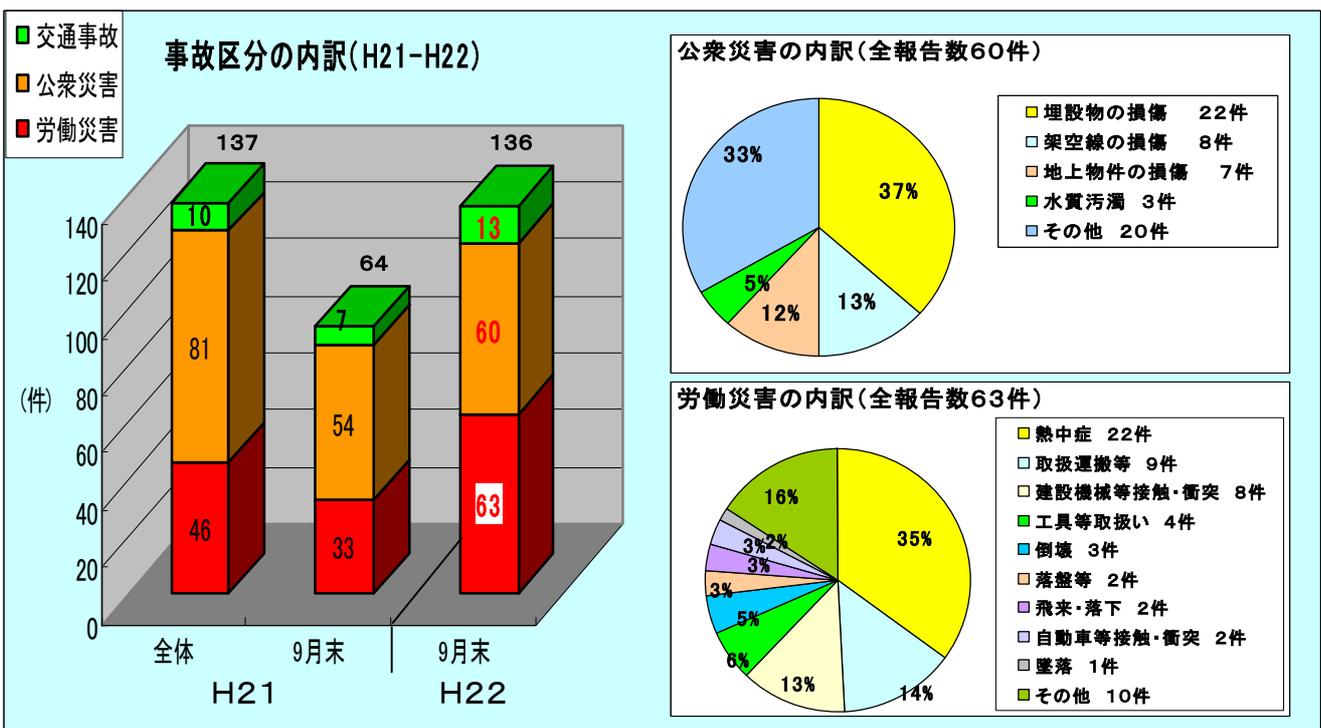
4. 公衆災害、労働災害の事故状況

1) 公衆災害

公衆災害では、埋設物の損傷事故が、1 / 3以上を占めている状況です。

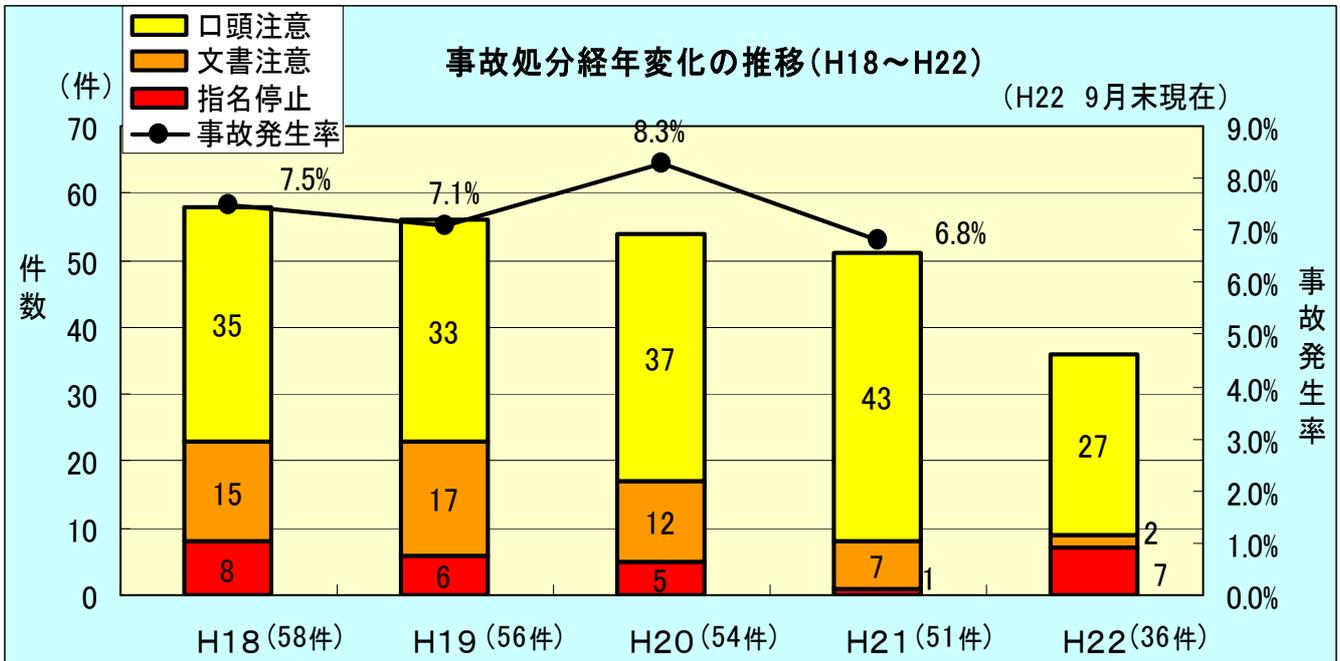
2) 労働災害

H22年の労働災害の内訳は、熱中症が35%を占めています。その他は、取り扱い運搬・建設機械に起因する事故が多く発生しています。



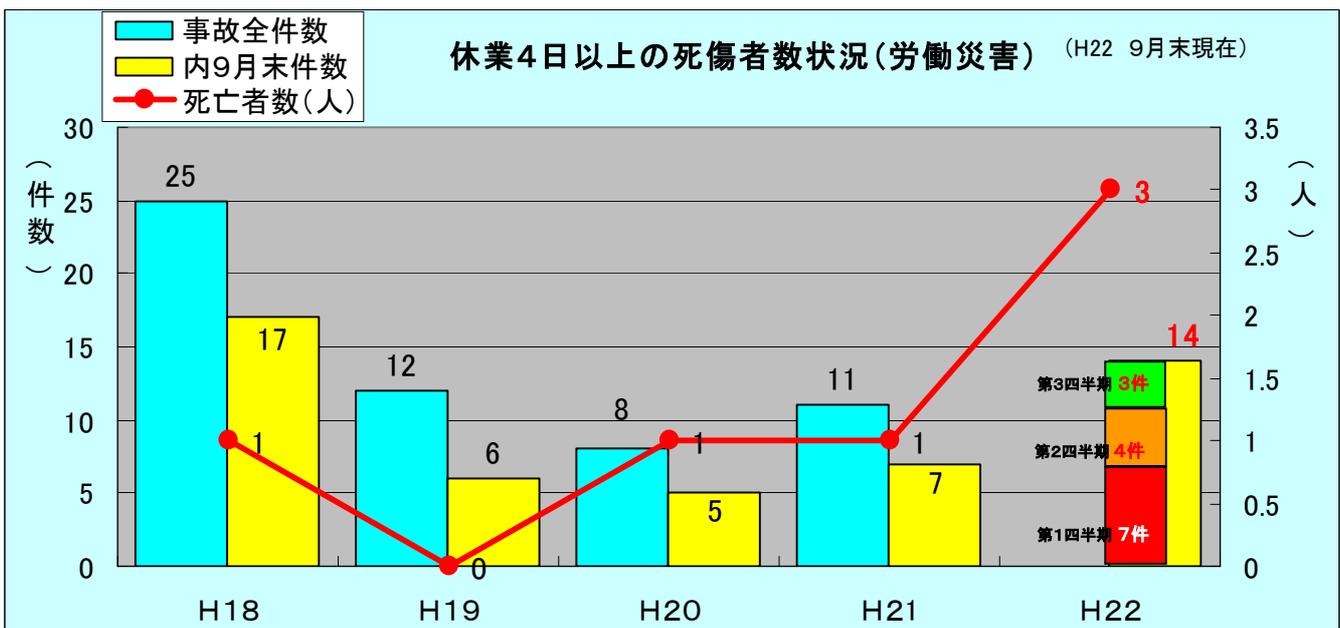
5. 工事事故の処分の状況（H22年データは、9月末現在）

工事事故の処分の状況は、文書注意に関しては、過去に比べ減少傾向となっておりますが、指名停止以上が7件と、過去5年とほぼ同数の状況です。



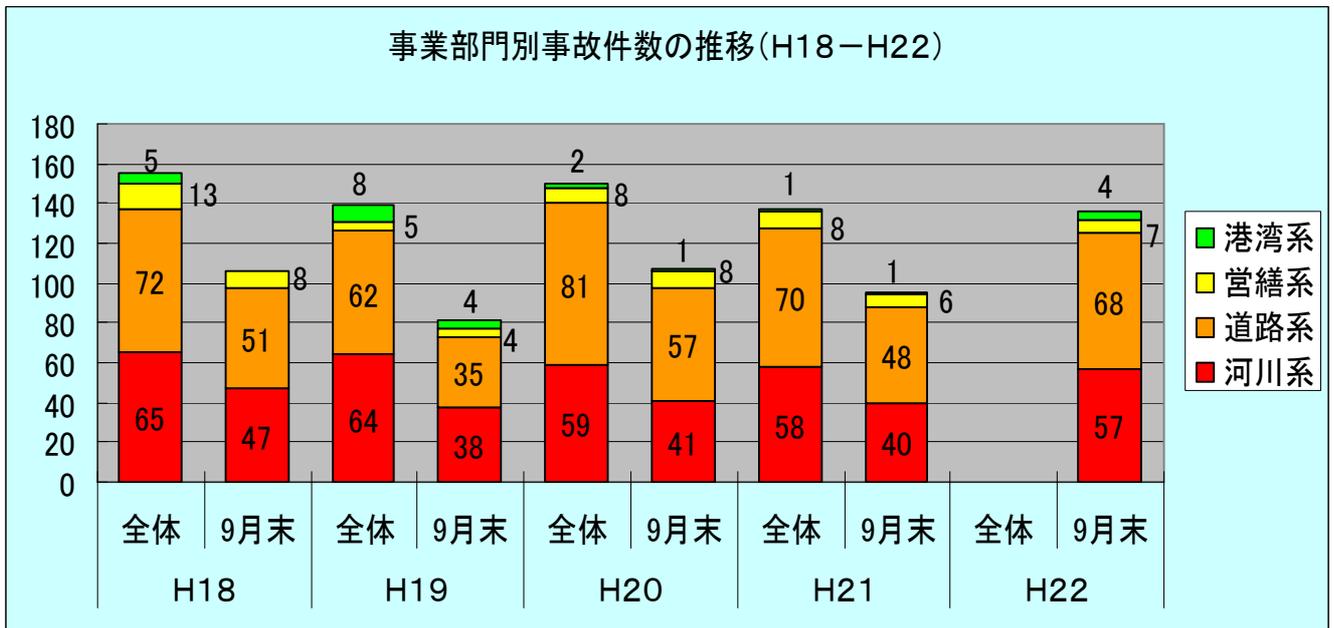
6. 休業4日以上のお事故件数の発生状況

休業4日以上のお事故件数は、H22年14件と昨年の発生件数を、既に超えている状況にあります。また、4半期別に見ると、第1四半期の7件から、3件と減少傾向にあります。



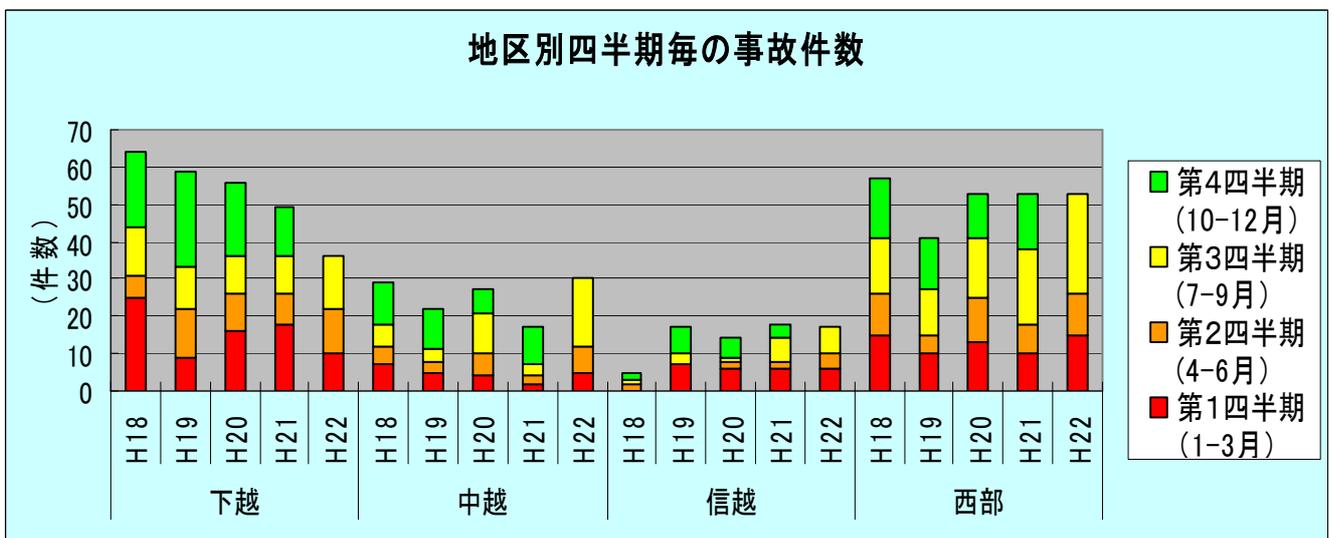
7. 事業部門別事故発生件数

事業部門別事故発生件数のH18からH22の事故発生件数の推移は、以下のとおりです。



8. 地区別の事故発生件数

地区別の四半期毎の事故発生件数は、以下のとおりです。



建設工事事故データベースへの登録を忘れずに

建設工事事故データベースへの登録(入力)を忘れずにお願いします。
 請負者、発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)して下さい。
 建設工事事故データベースは、各地方整備局、都道府県、政令指定都市、公団が発注した公共工事のうち、一定規模以上の事故が発生した工事について、事故報告をインターネットを利用しデータベースに入力するものです。

データベースを「建設工事事故データベース」もしくは「SAS(Safety Analysis System)」と呼び、管理業務はSASセンターが行っています。

登録(入力)は、SASセンターのホームページから

URL <http://sas.ejcm.or.jp/>